

---

山口ゼミ 新歓用資料2020年度 小林敦

# 大まかな流れ

1. 教授について、教授のスタンス
2. 2年間のスケジュール
3. 2年間のスケジュール・各論
4. どんなことを扱うのか？
5. 最後に、ゼミの空気など

1. 教授について、教授のスタンス
2. 2年間のスケジュール
3. 2年間のスケジュール・各論
4. どんなことを扱うのか？
5. 最後に、ゼミの空気など

# 山口慎太郎教授について

1. 専門は労働経済学
2. ゼミを受け持つ教官の中でも若く、  
精力的に活動されています



※最近『家族の幸せの経済学』という本を執筆されました。

# 教授のスタンス

1. 卒論を無理して書く必要はない
2. アカデミックな面だけでなく「伝える技術」も重視
3. 実のあることをやる



# 教授のスタンス

## 1. 卒論を無理して書く必要はない

学部4年がみな、手に余る卒論を書くというのではなく、ここではテーマ決めてサーベイ(後述)を書き上げます。

※もちろんサーベイでなく卒論を書くこともできます

# 教授のスタンス

## 2. アカデミックな面だけでなく「伝える技術」も重視

下を向いて話すだけ、ではなく、聴衆へ意識を向けること、図や内容をわかりやすく伝えること、といった点への意識が鋭く、ゼミ生の発表においてもその点は指摘される場所です。

# 教授のスタンス

## 3. 実のあることをやる

卒論の話にも通じますが、意味のある学習をやること。また、就活で休むことへの理解もあります。ゼミでは就職、院進、といった卒業後のキャリアにおいて役に立つスキルや思考を身につけてほしいという思いを持たれています。



1. 教授について、教授のスタンス
2. 2年間のスケジュール
3. 2年間のスケジュール・各論
4. どんなことを扱うのか？
5. 最後に、ゼミの空気など

# 2年間のスケジュール

3年 前期：課題本の輪読

+ サブゼミ

3年 後期：英語文献の発表

4年 前期：サーベイの骨組み

+ サブゼミ

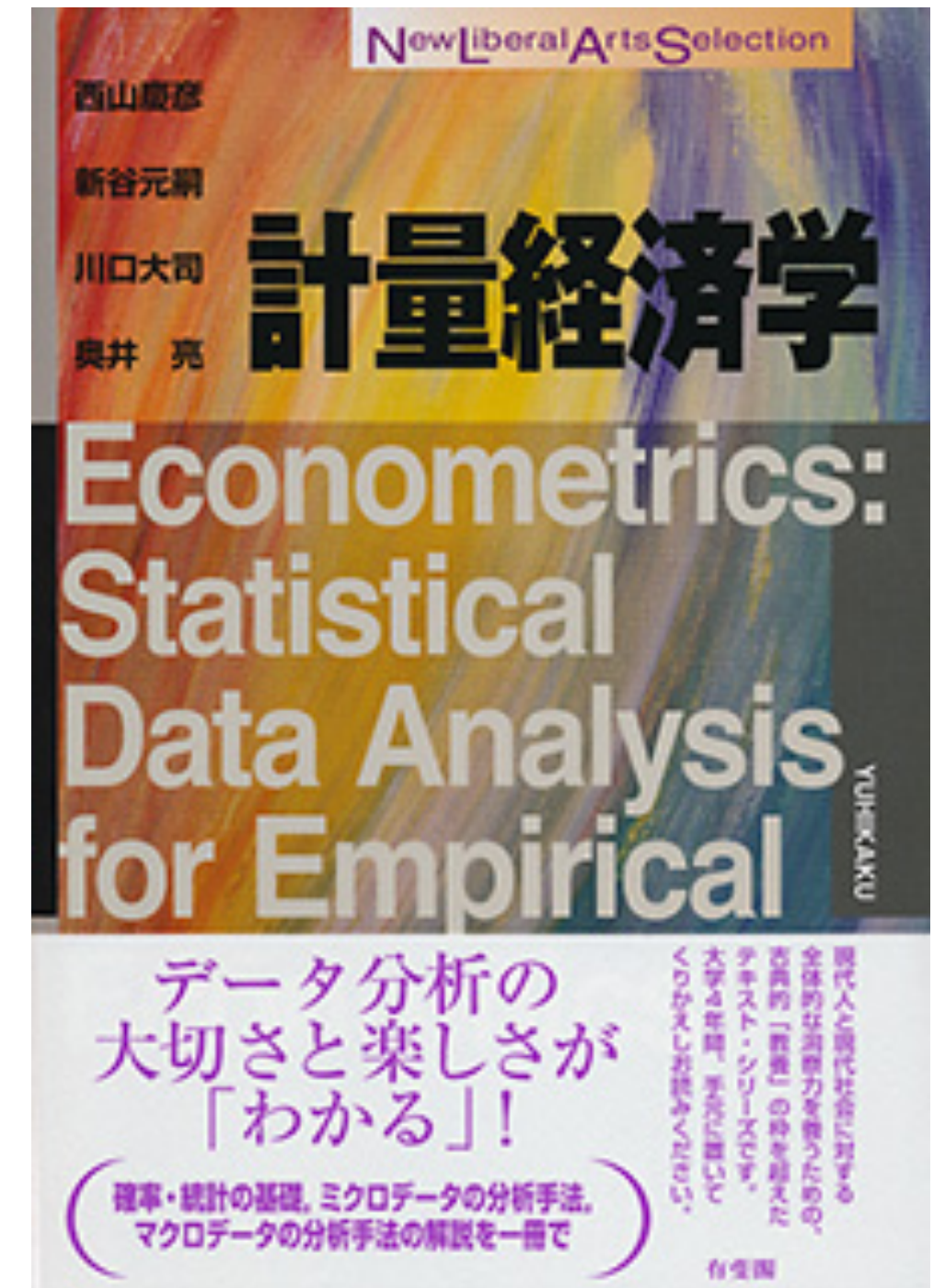
4年 後期：サーベイを完成へ

※サブゼミは前期ではなく後期に行う可能性もあります。毎年、ゼミ生によって決定

1. 教授について、教授のスタンス
2. 2年間のスケジュール
3. 2年間のスケジュール・各論
4. どんなことを扱うのか？
5. 最後に、ゼミの空気など

# 3年前期 課題本の輪読

- 本が指定され、内容を分担して発表していきます。
- 2020年度は『計量経済学』(有斐閣)を扱います。
- 今後、3年生後期と4年生で行う作業への素養や発表能力を培う意味が大きいです。



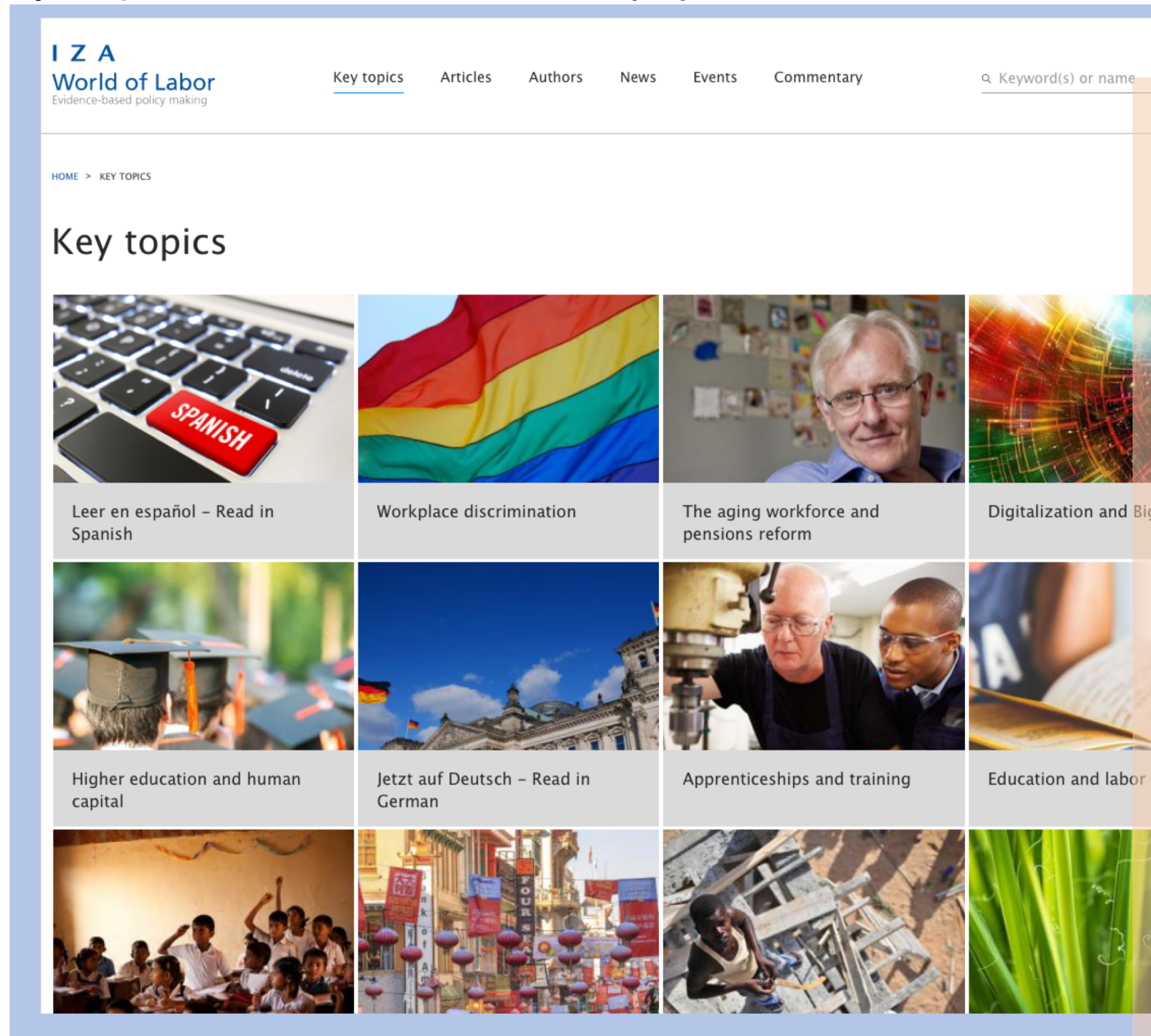
## 3年後期 英語文献の発表

### ■ 『IZA-wol(world of labor)』

というサイトに労働経済を中心とした英語のサーベイが数多く載っています

- そこから自由にサーベイを選び、日本語で発表  
単なる和訳ではなく、内容を取捨してわかりやすく、かつ論文に対する**批判的視座**をもつことも要求されます。

# 3年後期 英語文献の発表



↑IZAのサイト  
→IZAにあるサーベイ

**SUSAN L. AVERETT**  
Lafayette College, USA, and IZA, Germany

**IZA**  
World of Labor  
Evidence-based policy making

## Obesity and labor market outcomes

### The hidden private costs of obesity: lower earnings and a lower probability of employment

Keywords: obesity, BMI, wages, employment, occupation, absenteeism

#### ELEVATOR PITCH

Rising obesity is a pressing global public health problem responsible for rising health care costs and in some countries one of the leading causes of preventable deaths. There is substantial evidence that obese people are less likely to be employed and, when employed, earn lower wages. There is some evidence that the lower earnings are a result of discriminatory hiring and sorting into jobs with less customer contact. Understanding whether obesity is associated with adverse labor market outcomes and ascertaining the source of these outcomes are essential for designing effective public policy.

#### KEY FINDINGS

**Pros**

- Numerous studies using data from many countries make use of clever econometric methods to document a plausibly causal negative effect of obesity on earnings and employment.
- Obesity is a significant driver of higher medical costs for adults and children.
- There is credible evidence that obese people face...

**Cons**

- Data sets drawn from survey data with information on labor market outcomes often have weak coverage of health issues, so obesity measurements may not be accurate enough for rigorous statistical studies.
- Despite strong correlations between obesity and adverse labor market outcomes, causality is difficult to demonstrate, and the direction of...

#### Obesity rates for men and women, 2014–2017

| Country     | Men (%) | Women (%) |
|-------------|---------|-----------|
| China       | ~5      | ~8        |
| Italy       | ~10     | ~12       |
| Netherlands | ~12     | ~15       |
| Sweden      | ~14     | ~16       |
| France      | ~15     | ~17       |
| Germany     | ~16     | ~18       |
| Denmark     | ~17     | ~19       |
| Spain       | ~18     | ~20       |
| Brazil      | ~19     | ~21       |
| UK          | ~20     | ~22       |
| Canada      | ~21     | ~23       |
| US          | ~22     | ~25       |

Source: [1].

# 4年 サーベイ

4年生はサーベイを一年かけて書き上げます。

## ■ 「サーベイ」とは？

テーマを決め、そこで現状行われている研究の成果や課題を概観してまとめていく作業になります。

発表では、各自が何をテーマにしてどのような論文を取り上げるつもりかといった現状を報告します。



# 4年 サーベイ

## ■ どのような作業？どれくらい大変？

サーベイ自体は、関連する英語論文の中から有用なものを選んでいく作業がメインなので多くの論文に目を通す必要はあります。

ただその過程でも、どうやって省エネで有用な論文を見つけるかというアドバイスや、内容へのフィードバックを教授からもらえることが助けになります。





# 3・4年前期 サブゼミ(任意)

## ■ 「サブゼミ」とは？

正式名称は「プロアクティブラーニングセミナー」、本ゼミの内容の補足・関連分野への理解を深めるために、どのゼミも自由に設定できるものです。履修は必修ではなく任意です(普通の授業と同等の単位はつきます)。

## ■ どのような内容を？

このゼミは労働経済学だけでなく、その道具として計量経済学も必要になってくるので計量経済学への理解を深めると同時に、統計ソフト「R」を使って回帰やプロットを行えるようにします。

# 1年間の運営スケジュール

前期

後期

3年

課題本の輪読

英語文献の発表

4年

サーベイの骨組み

サーベイを完成へ

各週、3年生と4年生が1人:2人or2人:1人ずつ発表していく  
発表時間は一人約30分

3,4年

サブゼミ

※サブゼミは前期でなく後期に行う可能性もあります。毎年、ゼミ生によって決定

1. 教授について、教授のスタンス
2. 2年間のスケジュール
3. 2年間のスケジュール・各論
4. **どんなことを扱うのか？**
5. 最後に、ゼミの空気など

# 労働経済について

## ■ゼミではどこまでカバーしているのか？

“労働市場”や“雇用”のようなまさに労働経済といった分野から、教育や医療といった分野など幅広い問題を扱っています。特に3年生が発表するIZA論文の発表はかなり様々な分野のものが出てきます。

## ■どんなことを扱ったか？その1

2019年度に扱った輪読本『日本の人事を科学する』などから扱われたトピックをいくつか以下に挙げます。

- 労働者へのデータ分析の有効性と、その正確性・限界についての視座
- 「部署の‘長時間残業者比率’と‘長期休職者比率’の相関」は因果関係を意味するのか？背後にある因子や見定めるための手法について
- 企業での賃金カーブの決定論、なぜ若い時に安いのか？

# 労働経済について

## ■ どんなことを扱ったのか？ その2

3年生後期でのIZA論文発表や4年生のサーベイ報告は、各自が選んでくるものなのでテーマは多岐に渡ります。以下は昨年度発表されたテーマの例です。

### ■ 4年生サーベイ

- 犯罪抑止に対する政策として、労働政策や社会保障政策はどれくらい(そして定量的に)有効なのか？
- マッチング・マーケットデザインの設計と紹介、いかに最適にするか？

### ■ 3年生IZA発表

- 肥満が求職にあたっておよぼす影響はあるのか？
- 名前や性別、人種を伏せての就職活動がどのように作用したか？
- 学校教育への投資が親の教育投資をクラウドアウトさせているのでは？

1. 教授について、教授のスタンス
2. 2年間のスケジュール
3. 2年間のスケジュール・各論
4. どんなことを扱うのか？
5. 最後に、ゼミの空気など

# その他気になりそうなこと

## ■ゼミの空気は？

みんなでディズニーに行ったり、という感じではないです...今のところ。

## ■ゼミにおける学習の雰囲気

ゼミにおける学習は教授主導というよりも、学生が面白そうなテーマを持ち寄って発表などして、それに教授がフィードバックを与えるという感じです。

## ■何年くらいの歴史があるの？人数は？

教授が若いこともあり、出来てから3年目です。来年度入ってくる3年生がおそらく4代目になります。

人数は毎年7~10人というのがデフォルトになっていきそうです。

# 入ゼミについて

3年生の入ゼミを想定していますが、4年生・他学部生の入ゼミも歓迎します！(実際に昨年度は4年生から入ゼミしたものが2名)

出願要項についてはまた後日、セメスター開始後に募集をかけますが、参考として以下に出願要項の主な項目を列挙します。

- 氏名や学部などの基本情報
- 簡単な自己紹介
- いま興味を持っている社会・経済現象
- 参加希望の理由
- その他伝えたいこと

※希望者が多い場合、面接を行なう場合があります





# 最後に

1. 労働経済、ひいては弊ゼミでの学びに興味を持っていただければ...!
2. 山口ゼミの生徒が運用する新歓用Twitterがあります。(@sy\_semi)
3. 山口先生自身もTwitter(@sy\_mc)および[ブログ](#)を活用されていますので是非。

---

先生の[教員ページ](#)では、これまで手がけた研究テーマや講義スライドを見ることができます